

「つながりプロジェクト⑩」

フリースペース×健康づくりの提案

スピーディーに意見のグループ分けが出来るようになりました！KJ法は回数を重ねると、頭の回転も早くなるようです。外部講師で来られた女性がディスカッションに入ってくださった時は、明るく言葉を出してくれたことで、意見がとても出しやすくなりました。

葉局のフリースペースで夏の1日イベントを開催するまで準備は大変でしたが、私たちは林先生へ、ある提案をしました。それは授業中二人一組で製作したポスターをクラスで投票し、上位の作品をイベントで掲示するというもので、実際に掲示したところ、同イベントの出展者から嬉しいお言葉もいただくことが出来ました。一年間を通して、普段の授業では出来ない体験となりました。

「つながりプロジェクト⑪」

大人の背中×子供や地球の未来

このプロジェクトでは、小学校六年生を対象として地元で働く人たちの仕事や生き方を知ってもらうキャリア教育プログラムを企画しました。連携先は杭瀬小学校と校区を中心とした地域の方々。班ごとにいろいろな職業の方たちに取材し、自分たちで授業プランを考えます。私たちは小学校近くにある東消防署常光寺出張所を取材しました。実際に町に出て歩いたり、知らない人たちから話を聞いたりするのは、楽しい体験でしたが大変でした。実施は1月でした。自分たちでできることを考えながらプログラムを仕上げているのですが、実際に子どもたちの前に立つ体験もでき、力になっていると感じています。

「つながりプロジェクト⑫」

いろいろなイベント×さまざまな対応

私たちのプロジェクトでは、武庫地区のイベントへの参加を通して、武庫地区がどのような地区なのか調査しました。学生はそれぞれ、「ホタルの学習会」を始めとするさまざまなイベントに参加しました。イベントには他大学の学生や中学生、高校生もボランティアに参加しており、刺激を受けました。

何度かイベントに参加してみて、武庫地区には子ども向けのイベントが多いこと、普段は行く機会がなかった武庫地区の位置関係などを知ることができました。また、子どもたちと関わることも、保護者の方への対応が難しく感じました。子どもへの対応と大人への対応の切り替えが今後の課題です。



～つながりの証～

『食べて、笑って、つながって、女子力up!』

こんにちは！さのちゃんです(^^)平成28年12月17日(土)に、尼崎市女性センター・トレビエで、『つながるパラダイス2-食べて、笑って、つながって、女子力up!~』を開催しました。大人の女性を対象とし、6名の方が参加してくださいました。自撮り講座や女子会など、盛りだくさんのプログラムの中、1年生の私が初めて司会を務めさせていただき、失敗しないようにと結果を気にするより、その場を楽しむことが出来ました。温かい笑顔と笑い声に包まれ、参加してくださった方や仲間のおかげで、つなパラを大成功に作り上げることが出来ました。改めて人と繋がることの喜び、仲間の温かさを感じ、またたくさんパワーをもらった一日となりました。エネルギーをもらった感じです！2017年も、地域の方々をつなGirlで一つになって楽しんで活動していきたいです！



「つながりプロジェクト⑬」

地域の努力×魅力探し

私たちのプロジェクトは、普段からにぎやかで、学生自らが積極的に意見を出しています。尼崎の魅力を発信するため、地域のイベントとして、5月の一寸豆祭と10月30日の富松城跡祭に参加しました。イベントでは、自分たちで企画したブースの出展や地域の方のお手伝いをしました。

尼崎が地元ではない学生も多く、普段は大学以外の場所に行く機会がありません。このプロジェクトを通して尼崎（富松地域）の神社や町並み、尼崎の地域のイベントを知ることができました。また、大学生としてイベントに参加することで、地域の大人たちと関わり、コミュニケーション力を磨くことができたと感じています。

「つながりプロジェクト⑭」

身近な大きな歴史×辿る、見つける

このプロジェクトでは、地域の歴史をふまえたまちづくりを考えました。尼崎は市制100周年となった2016年、尼崎城の復元計画も決まり、歴史を活かして町を盛り上げようとしています。授業前は尼崎についてあまり知りませんでした。深い歴史があったと知り、文化財収蔵庫で歴史を学んだり、実際に学外へ出て城跡の意外な大きさや、駅前とは違う寺町の雰囲気歩いて体験したりしました。また自分たちで意見を出し尼崎旧藩主青山氏の事跡を神戸の湊川神社へ訪ねた班もあります。神戸や大坂城などほかの地域とのつながりも知ることができ、驚きました。知らなかった尼崎の魅力について、たくさん新しい発見があった楽しい授業でした。

「つながりプロジェクト⑮」

長生きの秘訣×「笑かす」

私たちは、主に猪名寺自治会と連携して、「笑い」を通じた健康寿命延伸プログラムの実践を行いました。授業ではお笑い芸人の方とワークショップをしたり、実際にお笑いライブを観に行ったりしました。また、松竹芸能の事務所を見せていただいたり、プロアナウンサーの方に発表の仕方を教えていただいたり、とても貴重な経験をさせてもらいました。猪名寺自治会のみなさんとも濃密な交流ができました。地域の方の熱い想いに触れることができましたし、たくさんの気づきを与えていただきました。この授業を通して、様々な背景を持つ人たちがいる中で自分の考えを相手に分かるように伝えていく力やいろんな人たちと一つのものを作り上げていくために必要な力が身についたと思います。

No. 14
2017.Feb

〈地域〉と〈大学〉をつなぐ
経験値教育プログラム

Newsletter

園田学園女子大学
園田学園女子大学短期大学部
地域連携推進機構

〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29-1
TEL: 06-6429-9921 FAX: 06-6426-2307
E-mail: chiikirenkei@sonoda-u.ac.jp



つながりプロジェクト Foot prints 社会×学生

初めの一步から10か月。

学校とは違った空間に何を感じ取ったのでしょうか。

学生たちが外で繋がった10か月を学生に聞いてみました。

「Foot Prints」

それは成長の記憶。

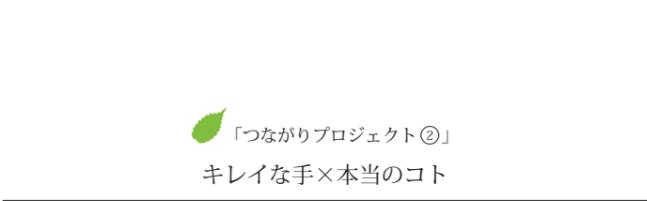




つながりプロジェクト

Foot prints

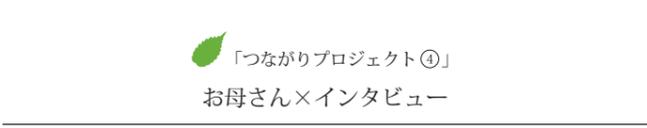
「それぞれの紡ぎ方」



「つながりプロジェクト②」

キレイな手×本当のコト

私たちは、尼崎市にある6つの公民館で地域に住む人たちを対象に「衛生的手洗い」の講習会を行いました。授業では、「衛生的手洗い」の方法などを学び、講習会のリハーサルを重ねてきました。講習会の参加者は女性の高齢者が多かったのですが、みなさん熱心に参加してくださいました。見本を見せながら丁寧に説明することを心がけました。参加者のみなさんからは意外と知られていない正しい手洗いの方法について知ることができてよかったという声をいただきました。私たちも、正しい手洗いの方法は知識では知っていたのですが、実際に地域の人に説明することで、具体的にどのように手洗いをすればよいのかや手を洗うときのポイントなどを理解することができました。

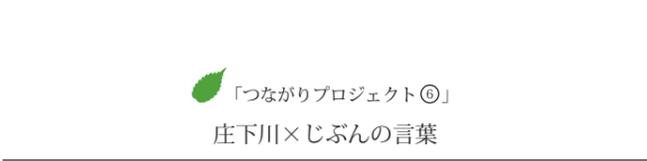


「つながりプロジェクト④」

お母さん×インタビュー

母親は大変です。授業で「一時保育」について調べて、母親の大変さがより分かりました。母親にとって子どもを預けやすい環境が整ってほしいです。とくに煩雑な手続きを簡略化してほしいです。夏休みにはお母さん方にインタビューへのご協力をいただきました。初めてのインタビュー経験から、質問を事前に考えておくことの大切さに改めて気づきました。

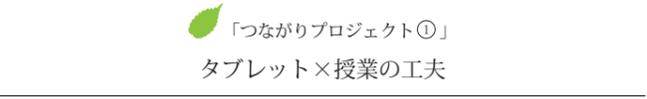
これまで学んだことを活かして、クリスマス会を開催します。私たちの願いは、子ども達には楽しんでほしい！お母さん方には休める場があることを知っていただきたい！そしてお母さん同士で仲良くなくなっていただきたい！と思っています。



「つながりプロジェクト⑥」

庄下川×じぶんの言葉

私たちのプロジェクトでは、去年の8月23日、24日に「まちの自然みつけた！庄下川観察会」を実施しました。4月から庄下川の周りをまち歩きして、近くの小学生や地域の人たちと接しながら、準備を進めてきました。当日は参加してくれた小学生の安全に注意を払いながら庄下川で観察を行い、自由研究のお手伝いをしました。次々に新しい発見や疑問をぶつけてくる小学生にちょっと驚かされたりもしました。そして、11月19日の実践の報告では、地域の人から好評をいただきました。最初は川になじみがないし難しそうと思っていましたが、自分たちで企画を作り上げていく中で、自分の身近にこんなに豊かな自然があることを知ることや自分の意見を自分の言葉で伝えていく力を身につけることができたと思います。

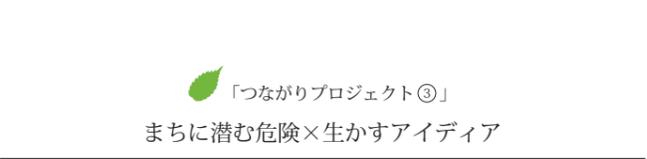


「つながりプロジェクト①」

タブレット×授業の工夫

プロジェクト1では、タブレット端末を使用した授業案を考えています。フィールドワークとして尼崎市内の小・中学校のICTの授業を見学しました。また、見学後には大学に小・中学校の先生をお招きして、模擬授業をしていただきました。

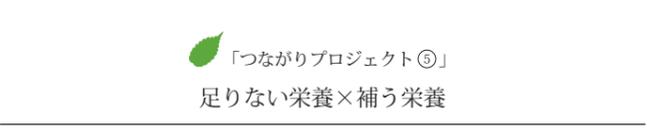
タブレット端末の扱いは、慣れない間は難しく、授業での利用は大変です。しかし、使いこなすことができれば、利点が多くあります。また、授業案を考えると、導入や流れづくりの難しさを感じ、普段私たちの授業を担当してくださる先生方の工夫に気付かされます。同じプロジェクトのメンバーには小学校の先生を目指す人もいますので、授業の見学や授業案を考えることはとても勉強になります。



「つながりプロジェクト③」

まちに潜む危険×生かすアイデア

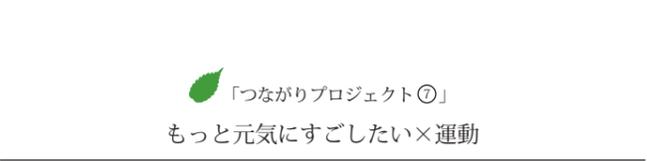
私たちのプロジェクトは、猪名寺や南清水の地域の、色々な世代の方々と協力して、安全なまちづくりについて考えました。会館の中で地域に足りないこと・危険な個所を話あったり、地図をもって町中を歩いて、危険な場所や避難できそうな場所を探したりしました。そこで、何気なく使っていた駅のエレベータは地域の努力で完成したことや、指定避難所は案外少なくて、人によっては遠くて不便なことなど、普段は意識していなかった、まちの様子を知りました。また地域を題材にしたカードゲームを通した学びを体験し、自分が社会に出た時に生かせるアイデアを沢山得られました。地域の方々との話し合いの中で、「みんな話ができて楽しかった。」と言われたことも、今後の励みになりました。



「つながりプロジェクト⑤」

足りない栄養×補う栄養

尼崎市内の「食の健康協力店」を取材しながら、お店の方と一緒に健康的なメニューを考えていきました。実際にそれぞれのお店で提供されているメニューを栄養計算し、不足している栄養素を補うようなメニューを考案しました。寿司店担当の班は、繊維質を摂るためにフルーツやキクラゲなどを提案、フランス料理店の方にはビタミン、カルシウムを補う付け合わせを提案しました。現場の方からは、もっと具体的な提案はないのか、など厳しい意見をいただくこともありましたが、専門性を活かして実践的な経験をするのができたと思います。次の年に継続できるような課題もあり、今後にかかしていきたいと思いました。

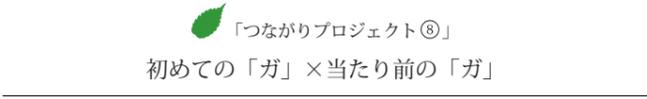


「つながりプロジェクト⑦」

もっと元気にすごしたい×運動

私たちは、地域の高齢者とリズム運動や筋力運動をしながら交流しました。最初はDVD通りに運動内容とその効果を説明していましたが、慣れてくるとどこ筋力を鍛えるのかを説明したり、自分たちで企画した脳トレが実施できました。さらにオリジナル運動も作成しました。

最初はなかなか高齢者に話しかけることができませんでした。趣味など何気ない話をきっかけに次第に自分から積極的に話すことができるようになりました。このプロジェクトを通して、ポイントを押さえて分かりやすく説明することの難しさと大切さを学びました。何より「来てくれてありがとうね。また来てね。」と言ってもらえたことから、人に感謝される喜びを知りました。

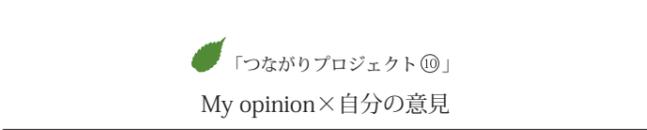


「つながりプロジェクト⑧」

初めての「ガ」×当たり前の「ガ」

「ガ」ってどうやって発音するの？そう聞かれると戸惑います。語学が好きで、外国の方に日本語を教えるボランティアに行きました。普段使っていることば、音を説明することはとても難しいです。ここで私たちが使えるのはきちんとした日本語です。それはハードルの高いものでした。みなさんとても熱心で、上手に、そして丁寧に日本語を使っておられました。通じる少しの言葉とボディランゲージ、翻訳のアプリ、また茶道という日本の文化を使ってのコミュニケーションは笑顔あふれる時間でした。

最後はそれぞれの母国料理を持ち寄ってのクリスマスパーティーでした!去年は一味がったクリスマスが楽しめました。

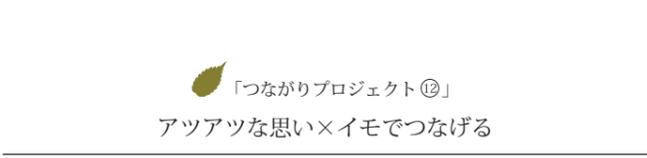


「つながりプロジェクト⑩」

My opinion×自分の意見

自分を表現していくことの面白さに気づきました！授業には留学生4人も参加してくれていて、パワーポイントやビデオを通して異文化を学びつつ、グループワークをしています。人見知りでも、自分の意見を言い合える環境です。

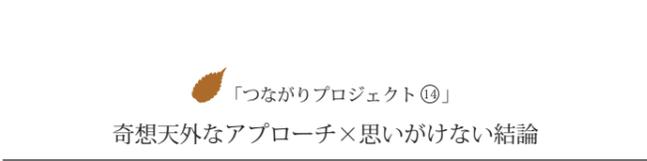
留学生にとって日本のイメージ＝「つめたい」でしたが、クラスメートは「生き生きして」いて、「あたたかい」という印象になったといえます。そんな留学生とは既にたくさんの思い出がありますが、日常若者が何気なく使う言葉を説明することの難しさです！標準語では説明できない日本語の微妙なニュアンスを伝えるのが大変でした。



「つながりプロジェクト⑫」

アツアツな思い×イモでつなげる

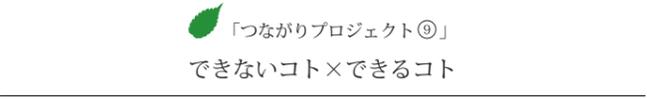
授業では、尼芋奉納祭の出展企画と運営に携わりました。1学期に「うんぱく」に参加してイベントの進め方などを実地で学びました。奉納祭では、尼芋を特に子どもたちに知ってもらうことを考えて、どら焼きとスイートポテトの販売と、プラ板工作ブースで出展しました。奉納祭には思ったよりたくさんの方が来ていて、奉納祭を楽しみにしている人が多くいることを実感しました。尼芋に対する熱い想いを持っている人たちがイベントを作っていて、こうやって人がつながっているんだと知ることができました。また、自分たちが町を歩いている地域のイベントや開催団体に目がいくようになり、視野を広げることができたと思います。



「つながりプロジェクト⑭」

奇想天外なアプローチ×思いがけない結論

環境や自然について自分たちで議論し、考えてきました。といっても堅苦しい感じではなく、先生や、外部講師の方々からヒントをもらいながら、連想ゲームのようにいろいろなことを議論しました。授業の進め方は本当に奇想天外で、さんさんタウンで働いている方に話を聞いたり、先生がヤギを連れてきたり、結婚生活で大切なことを話し合ったり、挑戦的で楽しい授業でした。教室で議論をしていると、身近なゴミのことで人によって考えが違います。いらないと思っていたものが生まれ変わったり、町をきれいにするだけではなくものづくりにつなげたり、思いがけない結論が出て、自分たちの視点が広がっていくのを実感できました。

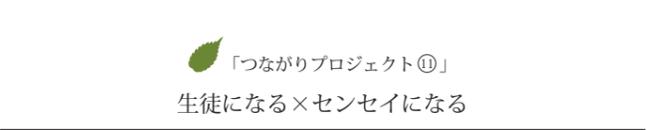


「つながりプロジェクト⑨」

できないコト×できるコト

実際に体験したことで、得られたものがたくさんあります!! 講義形式で学んだことをふまえて、3つのグループに分かれ、尼崎市内の小学校2校と1施設で、「健康」にまつわる取組を行いました。1施設では、夏休みイベントの計画を立案・実行する機会をいただきました。

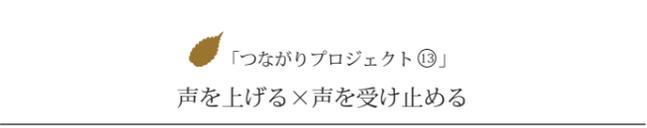
当日の参加者は、予想していた年齢より下の年齢が来てしまい、動揺しましたが、先生から「やりきろう」と背中を押してもらいました。ハンカチ落としなど、年齢に合わせたゲームを盛り込み、参加者の子どもたちを楽しんでもらうことが出来ました。難しい面もありましたが、イベントを通して、できるコトはしてもらおう。できないコトだけを個別にサポートする大切さに「気づけた」ことは大きな収穫でした。



「つながりプロジェクト⑪」

生徒になる×センセイになる

私たちのプロジェクトは「みんなのサマーセミナー」の運営に携わりました。「みんなのサマーセミナー」は旧聖トマス大学の校舎を使って、尼崎の色んな人たちがセンセイになって、様々な授業をします。私たちも「世界一受けたい手遊びの授業」「みんなでラクロス!!」など、沢山の授業をしました。そこで、授業準備の大切さ、人前に立つことの難しさを痛感しました。特に、授業に何歳くらいの方がくるのかは授業を開いてみないとわからないので、子どもから学生、大人やお年寄りなど、生徒の年代に合わせて説明するのがとても難しかったです。このプロジェクトは色々な学科の学生が参加するので、友達が増えて、さらに大学の外にも世界が広がったので、よい経験になりました。

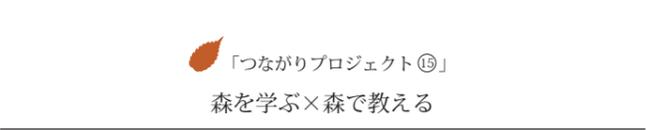


「つながりプロジェクト⑬」

声を上げる×声を受け止める

尼崎市女性センターの役割について勉強し、また女性問題やデートDVなどについても学びました。特にDVについては、今まで、自分に身近な問題ではないと思っていましたが、実はそうではなくて、デート中のDVなどは、私たち学生にとって、かなり身近な問題だということに驚きました。10代や20代の同年代の人たちが巻き込まれたDVの話聞き、もし身近に被害にあっている友達がいたら、その人の心理状態を考えて、根気強く、落ち着いて対応できる自信が持てました。

女性問題はやはり女性自身が声を上げていくことが大切だということを知り、いざという時に発言できる大人になろうと思えました。



「つながりプロジェクト⑮」

森を学ぶ×森で教える

プロジェクト15では、尼崎中央緑地での子ども向け環境学習イベントに参加しました。春のイベントでは、押し葉・押し花制作や牛乳パックを使った紙すき体験のお手伝いを、秋のイベントでは自分たちで考えた教材を子どもたちに体験してもらいました。

紙すき体験のお手伝いは、子どもたちをサポートしながら自分たちも体験することができて面白かったです。教材の制作は、体を動かすグループや葉っぱを使ったクラフト作りのグループなど、3つのグループに分かれて行いました。各グループともに、子どもたちの年齢に合った教材を考えるのが難しかったです。しかし、子どもたちが楽しそうに体験してくれたので良かったです。